

## 「栄典に関する有識者」の会合における有識者意見要旨

- ◆開催日時：平成26年5月19日（月） 16：45～17：48
- ◆開催場所：総理大臣官邸3階南会議室
- ◆出席者：阿木有識者、阿部有識者、潮谷有識者、島田有識者、中西有識者、古川有識者、牧原有識者、松浦有識者、御手洗有識者、宮田有識者  
安倍内閣総理大臣、菅官房長官、杉田官房副長官、西村副大臣、小泉大臣政務官（以上、冒頭のみ）  
横畠内閣法制局長官、松山事務次官、黒羽賞勲局長、大塚総務課長

### ◆有識者からの主な意見等

#### 【平成15年秋の栄典制度改正後の実施状況】

- ・ 官民比率の是正、危険業務従事者叙勲の創設、一般推薦制度の創設など主要な改正事項がその後の運用面でも生かされており、今後も引き続くことを期待している。
- ・ 受章対象を女性、外国人、中小企業等々大幅に範囲を広げたことは良かったと思う。
- ・ 褒章における女性の割合が3割と、前回等よりも上がっており、努力していることは伝わってくる。しかしながら、努力ではなく、実質の数字でありたい。
- ・ 自分が関係した組織の中でも、女性の比率が段々高まっており、今後に期待しているところ。
- ・ 危険業務従事者叙勲の受章者が増えているということはいい傾向だと思う。

#### 【一般推薦】

- ・ 一般推薦の受章実績が平成26春は1件のみ。問題点を分析し、実績を上げていく工夫を考える必要がある。
- ・ 一般推薦の数が伸び悩んでいるので、対応が必要である。

#### 【紫綬褒章】

- ・ パラリンピックの金メダリストもオリンピックの金メダリストと同様に紫綬褒章の対象になったということはいい傾向だと思う。
- ・ あまりにも若い者が紫綬褒章を受章することについて、違和感を覚えた。
- ・ 学術・芸術分野の紫綬褒章にスポーツ分野が入ってくるのは乱暴な括りではないか。スポーツ分野を別枠にして、金メダリストだけでなく、広く国民を感激させたような者も含めて評価されるものがいづれできたらいいと思う。
- ・ 近年、学術分野の紫綬褒章受章者が減っているようなので、何とかしていただきたい。

- ・ 境界領域を研究している者が今後も適切に評価され、受章につながるよう検討していただきたい。
- ・ 紫綬褒章について、受章される方の分野や団体が偏らないような運用をお願いしたい。

#### 【外国人叙勲】

- ・ 外国人について、在外公館に問題意識を持ってもらい、候補者の発掘に当たる必要がある。叙勲した後、日本の友人として、日本との関係の推進に協力していただくことに非常にプラスになる。
- ・ 外国人については、日本と関わりが深いのに叙勲実績がない国を洗い出し、候補者を発掘する努力をしてはどうか。
- ・ 外国人の候補者について、外務省等による把握だけでは限界があるので、もう少しアンテナを張って候補者の発掘に努めていただければと思う。

#### 【その他】

- ・ 東日本大震災に係る栄典の運用について、救助で殉職された方への叙勲、勲記等を紛失した受章者への対応は、被災地を元気づけたと思う。
- ・ 高齢で伴侶を亡くされている方は、（拝謁や伝達式に）一人で行くことを躊躇され、行きたいけど断念することもある様子。身近な近親者が例外的に（宮中への拝謁に）同行できる扱いを検討されると素晴らしいと思う。
- ・ 高齢化が進む中、政府内の委員会において70歳までを働く人口と位置付けるような動きが出ている。こうしたことを踏まえ、現在70歳となっている叙勲対象年齢を、例えば75歳に引き上げるといったような運用を考える時期にきているのではないか。
- ・ 官公民の区分に関して、国家・公共に対する功績を評価する栄典として、「公共」概念をどう捉えていくのか。その区分や整理の仕方について再検討が必要ではないか。
- ・ 世界に冠たる特殊な技術を持っている中小企業経営者が、叙勲の推薦から漏れてしまわないよう、推薦のプロセスについても検討する必要があると思う。
- ・ 栄典の意義は素晴らしいが、毎年、春と秋に2回ということで賞味期限が半年しかない。フランスでは受章者が襟に簡単な略章を付けていることが多く、皆誇らしげ。この点、我が国でも何らかの改善を望む。
- ・ 国の基盤を揺るがす大きな問題である少子化対策に取り組んでいる関係者への顕彰を検討してはどうか。

以 上